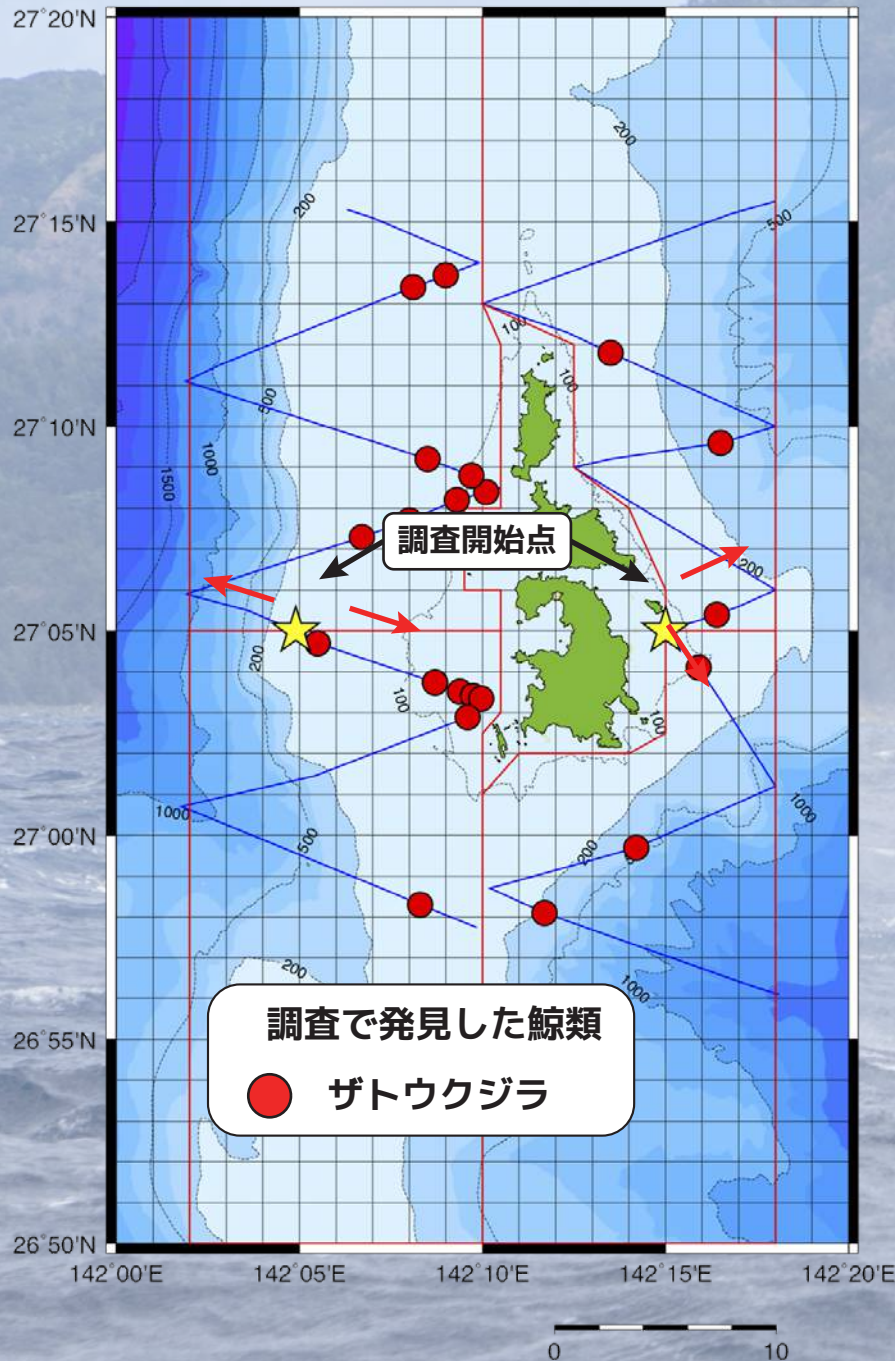


2018年 鯨類目視調査の結果について ～調査航跡と発見位置の速報～



2018年1月29日、主にザトウクジラの分布特性や来遊状況を調べるため、父島列島周辺海域での目視調査を実施しました。調査船4隻に目視調査員が2名ずつ乗船し、左の黄色で示した点から、調査を開始しました。

船は南と北に向かって航行し、今回の調査で発見した鯨類はザトウクジラ23群29頭となりました。今回は、海況の悪化に伴い途中で調査中止としましたが、例年並みにザトウクジラの実見がありました(表1)。

これまでと同様、ザトウクジラの実見は父島の西側で多く、200m以浅での実見がほとんどでした。詳しい実見位置は左の地図をご覧ください。

調査にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。なお島の沿岸付近は、ザトウクジラの実見が多いため、衝突の危険がございます。船での航行には十分にお気を付け下さい。

表1. ザトウクジラの実見について (過去の調査との比較)

	2015年1月	2016年1月	2018年1月
総探索距離 (海里)	168.8	171.6	100.2
ザトウクジラ 実見群数・頭数 (群/頭)	28 / 41	24 / 36	23 / 29
遭遇率 (頭 / 海里)	0.24	0.21	0.29

今後、本格的なウォッチングシーズンになり、ザトウクジラの実見も増えることが予想されます。ホエールウォッチングを安全に、そして安心して楽しむためにも、引き続き自主ルールの遵守にご協力よろしくお願い致します。

参照ページ：<http://www.owa1989.com/watching/rule>

[問合せ先]

一般社団法人 小笠原ホエールウォッチング協会

TEL : 04998-2-3215、MAIL : info@owa1989.com

